

ITU-R SG5 TG 5/1 第1回会合結果について

地上業務委員会 事務局

WRC-19 議題 1.13 (将来の IMT 開発に向けた 24.25-86GHz 帯における移動業務の追加一次分配を含む IMT 特定のための周波数に関する検討)の責任グループである SG5 Task Group 5/1 (TG 5/1) の第1回会合が 2016 年 5 月 23-24 日にジュネーブにて開催された。各国の主管庁・事業者・ベンダー等より 178 名が参加し、日本からは 8 名が参加。

1. これまでの経緯

WRC-19 議題 1.13 の進め方と TG 5/1 の役割は、昨年 11 月に WRC-15 直後に開催された、CPM19-1 で以下のとおり決定されている。

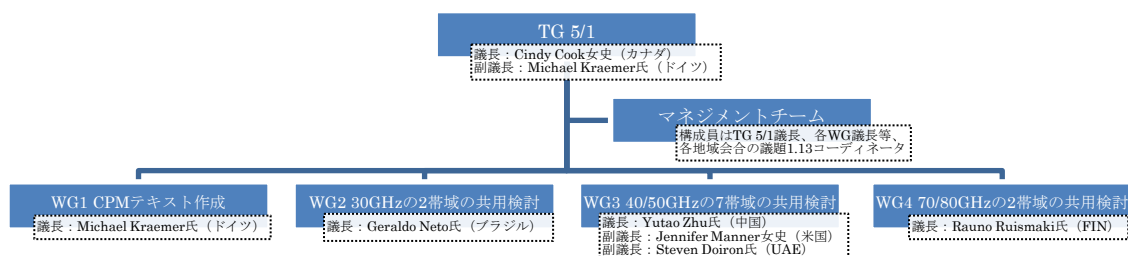
- ① IMT の周波数需要算出及び技術運用特性 (パラメータ) の検討【WP5D が検討。〆切は 2017 年 3 月 31 日】
- ② 周波数共用検討【下記に基づき、TG 5/1 が検討。】
 - ・ 上記①の結果
 - ・ 検討周波数帯における既存業務の技術運用特性 (パラメータ) 【各作業部会が検討。〆切は同上】
 - ・ 伝搬モデル【SG3 の作業部会が検討。〆切は同上】

なお、TG 5/1 は共用検討を実施し、CPM19-2 (詳細開催時期未定) に提出する CPM テキストを、同会合開催前までに完成させなければならない。

2. TG 5/1 第1回会合での審議結果

上記 1. に基づき、TG 5/1 の担当である具体的な共用検討には今回は着手せず、2017 年 4 月以降の作業を円滑に進められるよう、**検討体制構築、作業計画策定等**を行った。

- ① 検討体制としては、以下図のように、CPM テキスト作成担当 WG、3 つの周波数レンジ毎の共用検討担当 WG を設置することとした他、マネジメントチームには各地域会合 (APT など) の議題 1.13 コーディネータを加えることに合意。



- ② 作業計画としては、以下が合意された。各会合の具体的なスケジュールは調整を継続。
 - ・ 第1回会合 (2016 年 5 月) 体制構築、作業計画策定
 - ・ 第2回会合 (2017 年 4 月) CPM テキスト作成開始、共用検討ひな形検討、共用検討開始
 - ・ 第3回会合 (2017 年中盤) CPM テキスト作成、共用検討
 - ・ 第4回会合 (2017 年終盤) CPM テキスト作成、共用検討
 - ・ 第5回会合 (2018 年、必要であれば) CPM テキスト作成、共用検討完了
 - ・ 第6回会合 (2018 年) CPM テキスト作成完了

以上